

京林大だより

No.25



絵:卒業生 熊走君

平成28年度 林業大学校入学式



17名が
入学しました



春爛漫の4月11日、5期生17名の新入生を迎え、わちふれあいセンターで入学式が行われました。

只木校長先生から「入学を許可する」との言葉もらった学生達は、たくさんの御来賓の方々からも祝福を受け、晴れやかな顔で式を終えました。

また、式典終了後、今年も和知駅前活性化委員会の皆様の暖かいおもてなしを受け、新入生や保護者など出席者は、つきたてのお餅や豚汁に舌鼓を打っていました。

今年の学生も東は神奈川県から西は熊本県と遠方からの者が多く、8割が和知駅近辺に下宿しています。



色々お世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

日本海ウォーキング

新1年生達は、早速恒例の日本海ウォーキングに挑戦しました。2日間かけて大学校から舞鶴港まで約50kmを、2年生の支援を受けながら1人も欠けることなく無事踏破しました。



林政ニュース**京都丹波高原国定公園制定！**

平成28年3月25日、我が国で57箇所目の国定公園として、「京都丹波高原国定公園」が新たに制定されました。

南丹市、綾部市、京丹波町、京都市左京区、右京区に跨る68,851haの公園で、長老ヶ岳も主要な対象の一つになっています。「森の京都～森・川・里に守り継ぐ自然と文化」がテーマになっており、この地域の歴史と文化を育んできた豊かな森があったればこそ制定されたものと思います。



乙見から見た長老ヶ岳

今月の授業参観**『育林技術2』**

京丹後市網野町の鳴砂で有名な琴引浜に、今年の卒業生達が蒔いて育てたクロマツの苗を、2年生が実習で植えました。海岸の防災林を造る実習が、白砂青松の美しい海岸を守る取組に繋がり、これからも引き継がれていきます。



1本ずつ空いている場所を確認しながら
ていねいに苗木を植えました。

**校長室より****育樹祭・森の京都の年に…**

校長 只木 良也

本年平成28年は、京都で全国育樹祭、そして「森の京都」運動本格化の年、その年に入学の京林大第5期生の諸君の大成を祈ります。関係の皆様方からも、旧に変わらぬ御支援をお願いいたします。

ところで、京都府庁の旧本館の議事堂、御存知ですか。

この旧本館は明治37年竣工のレンガ造り・内装木材豊富、創建当時の姿を留める現役の官公庁の建物としては日本最古とか。平成16年国の重要文化財に指定されています。この本館の北部に場を占め、明治38年から昭和44年まで、府議会の議場として使われていた「旧議場」、平成26年、竣工110周年に当たり新築当初の姿に修復整備されました。

この旧本館を使った府の色々な活動の一つに、平成22年開始の「連続講座」があります。毎年春と秋に、京都らしいテーマに基づく各3回程度のリレー講座で、今まで、京の伝統文化、きもの、幕末の秘話、平城京と平安京、文学、無声映画、伝統工芸、食べ物・飲み物、民俗芸能などが扱われてきたのですが、今年は育樹祭の年でもあるので「森の京都」がテーマとなりました。

「杜の神さま、食事のメニュー」

- －京都市歴史資料館：宇野日出生氏、
- 「かやぶきの里」美山町は観光でまちづくり
- －美山ふるさとKK：高御堂厚氏、
- 「意外とオモロイ樹木からのメッセージ」
- －京都府立大学：松谷茂氏

「京都の自然」

- －環境省京都御苑：田村省二氏

と続く講座のトップバッターとして5月21日、私が「森が育てる文化」のテーマで講義を担当することになりました。会場は修復なった旧議場と聞けば、何か物々しく重々しく…、しかし、何かワクワクするような気分…。